

# Otemae Winds



No. 46  
[大手前ウインズ]

2024年10月 第46号  
発行: 学校法人大手前学園  
〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42  
(大手前学園 法人本部)

<https://gakuen.otemae.ac.jp/>

## STUDY FOR LIFE

生涯にわたる、人生のための学び

### Special Interview

一人ひとりの人生のウェルビーイングを実現するために  
胸を打つ教育を実践する  
中規模総合大学へ

大手前大学 学長 国際日本学部 4年生 経営学部 2年生  
平野 光俊 × 糸木 寧音 × 城内 誠也

### Enjoy! Activities

楽しむ! わたしの部活動!

Otemae Molkky Recreation 部長 浦山 天佑  
大手前ボランティア同好会 代表 田畑 吟

白田 ルリさん(メディア・芸術学部 卒業生)より寄稿いただきました。詳細は7ページをご覧ください。



大手前学園  
理事長  
福井 要

私の「スタディフォローライフ」  
(67歳の挑戦です)

9月2日(月)に大手前大学短期大学公開FD・SDセミナーが行われ「教育研究のための統計法」をテーマに、統計の超基本とデータの解釈の仕方について二人の講師よりお話を伺いました。

そこで私は、2025年1月の大学入学共通テストの試験問題に新科目「情報」が加わり、4月には「情報1」という科目を履修した高校生が大学に入学してくるという事を改めて認識する機会をいただきました。

お話に触発されてさっそく講師・関根伸一先生おすすめの書籍『統計学のキホンのキ』並びに『とってもやさしい情報1』を購入し(恥ずかしながら67歳の手習いですが)勉強してみることにしました。

社会環境の変化に対する企業の適応能力という意味の「アジリティ」という言葉がでています。ソフトウェアによる業務改善はソフトウェアで変更しやすいそうで、現代の業務改善はソフトウェアの設計、開発、改修が中心です。最近はやりのDXでは、アジリティの源泉は、必要な人的資源をタイムリーに補強する人事異動からソフトウェアに変化しておりデジタル技術を活用して製品・サービス・業務、更には組織・プロセス・企業文化を変革し、競争優位を確立する事に企業は躍起になっているとのこと。ここまで読んでようやく、私は経営資源にヒト・モノ・カネに情報を加えていた時代と全く違う世界が、半導体回路の倍々ゲームを予言したムーアの法則を凌駕するものすごいスピードで到来すると理解できました。ましてやIoTやVR、AIやChatGPTなどが出現し、これからの社会はデータやデジタル技術抜きには語れません。

ちなみに、DXを推進していく組織に望まれる従業員の能力は、ITプラットフォーム上で合意形成を行うための文章能力、暗黙知を形式知に変換し組織にナレッジを蓄積していく言語能力、IT部門と一緒にシステム要件定義を行う能力、データ分析基盤を利用してデータに基づく意思決定を支援する能力などだそうです。

私もSTUDY FOR LIFE、DXを推進する組織に望まれる経営者に少しでも近づくために、1年以内のITパスポートの取得をめざしてみたいと思います。

今必要なのは、これまでの価値観や認識をひっくりかえしても持たないといけない新しい何か(発想や概念?)を受け入れる覚悟です!

# Special Interview

## 一人ひとりの人生のウェルビーイングを実現するために 胸を打つ教育を実践する中規模総合大学へ



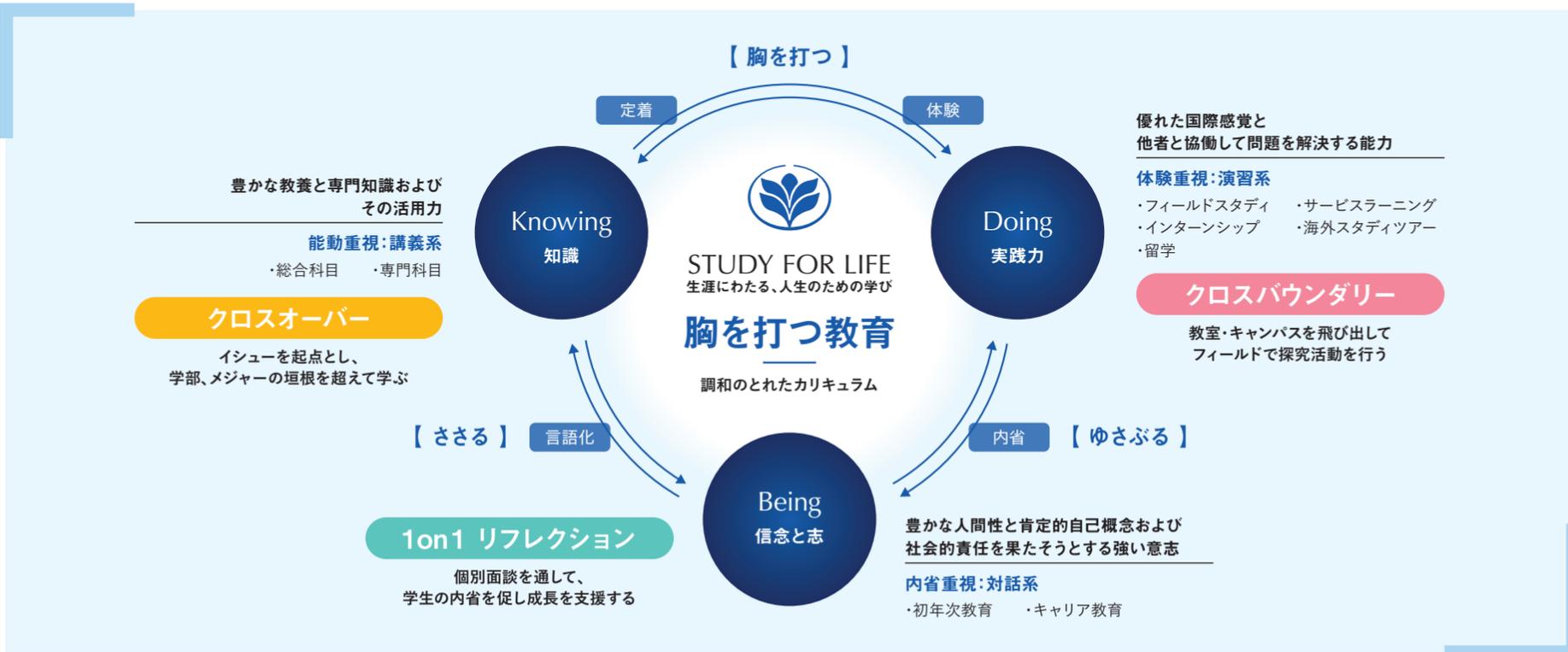
1946年の創設以来、発展し続けてきた大手前大学。次のステージに向けてさらなる飛躍を遂げるため、2030年をターゲットとする新たなビジョンを打ち出しました。本学がめざす「胸を打つ教育」とは何なのか、平野光俊学長に想いを伺うとともに、大手前大学の学びを実践する国際日本学部4年生・糸木寧音さん、経営学部2年生・城内誠也さんと一緒に、その魅力について語り合いました。

人をよりよく変える教育の力を  
未来を担う学生たちに届けたい

平野 2022年に学長に就任し、これからの教育を考えるうえで重要なキーワードになると考えたのが、二代目理事長であり現在に続く本学の礎を築いた福井秀加先生が提唱した「胸を打つ教育」です。この言葉に込められた、人を変える力を謳う強い教育信念に共感し、現代におけるその意味を再定義。2030年をターゲットにしたビジョンとして「一人ひとりの人生のウェルビーイングを胸を打つ教育を通じて実現する中規模総合大学」を打ち出しました。

大手前大学は1966年に大手前女子大学としてスタートし、その後リベラルアーツ系の新学部を次々に開設。さらに2016年にヘルスケア系の健康栄養学部、2019年に国際看護学部を開設しました。また2027年には情報学部(仮称)開設を構想しており、名実ともに「中規模総合大学」として着実に発展しています。それは単に規模の拡大にとどまらず、中規模でありながら一人ひとりの学生に寄り添った、小規模のようにきめ細かな個別指導と、中規模でありながら大規模大学に負けない知の多様性やダイナミクスの追求という、本学ならではの価値を発揮する「中規模総合大学」を意味します。そして、その実現の鍵となるのが、「胸を打つ教育」なのです。

では、「胸を打つ教育」とは何か、次の3つの観点から定義しました。1つめがコンテンツ(内容)。豊かな教養と専門知識を育むKnowing(知識)、体験を通して問題解決力を育むDoing(実践力)、内省を通して豊かな人間性と肯定的自己概念を育むBeing(信念と志)のそれぞれから調和をとったカリキュラムを展開します。2つめは、それらを実践するフロー(流れ)。体験⇄内省(リフレクション)⇄言語化⇄対話によって心に定着⇄次の体験⇄というサイクルで深い学びを獲得します。3つめが、メソッド(方法)。学部、メジャーの垣根を越えて授業を選択履修できる「クロスオーバー」、キャンパスを飛び出しフィールドで探求活動を行う「ク



# Special Interview

ロスバウンダリー」教員が学生一人ひとりと対話し成長を支援する「lon1」の3つを展開。これら、コンテンツ、フロア、メンソッドによって「胸を打つ教育」を構築し、一人ひとりの人生のウェルビーイングの実現をめざしているという考えです。

## あらゆる垣根を越えて 知と視野を広げる クロスオーバー

**糸木** 大手前短期大学で学んだ後、国際日本学部に入籍したのですが、現代社会学部の「西宮 まち・ひと・しごとリレー講義」を受け、垣根を越えてさまざまな分野を学んでいます。知識や興味の幅が広がって、学ぶことがとても楽しいです。

**城内** 私は経営学部ですが、社会に出ていくために一番重視しているコミュニケーション力を培うため、社会や人の心理を読み解く現代社会学部の「社会・集団・家族心理学」を履修中です。そのなかで私自身、知らないうちに固定観念に縛られていて、視野が狭くなっていったことに気づきました。学ばば学ばほど知らなかった世界が見えてきて、改めて社会を見直すことができたように思います。

**平野** それは嬉しい発見ですね。その他、本学では現在13カ国から留学生を受け入れていて、彼らのサポートを行ったり交流イベントの企画や運営を行う国際交流協力学生スタッフ「Team Colors」があります。糸木さんはそのメンバーですが、ここでの活動も、ある意味国境という枠を越えた学びがあるのでは？

**糸木** 本場にそうですね。最初は英語を修得したくて参加したのですが、言語だけでなく各国の文化や風習の違いなどいろんな発見があり、とても勉強になりました。実は、城内君とも留学生交流イベ



ントを通して顔見知りなんです。

**城内** 経営学部には台湾からの短期研修生がいて、プログラムの一貫で「Team Colors」の皆さんと一緒に京都に行き、交流を深める有意義な機会となりました。

**平野** さまざまな交流の機会を生み出すのもクロスオーバーの面白さですね。新たな出会いを通して世界を広げてほしいです。

## 体験を通して 新たな自分と出会う クロスバウンダリー

**平野** 体験を重視するクロスバウンダリーでは、お二人はどのような学びがありましたか？

**城内** 1年生のとき「大手前会計学研究会」を立ちあげ、部長として運営に携わっています。また、「アイスは別腹」サークルではSNSを活用した商品・店舗のPRを実践的に学んでいます。経営学を学ぶ身として起業や経営には興味がありますし、在学中に起業し事業家として活躍するOBがいることは、モチベーションにもつながります。また、同好会という一つの組織を動かしていく経験は、コミュニケーションや人との関係づくりにおいて、とても勉強になっています。

**糸木** 私は短大1年生のとき大手前祭で映像配信を行う学生スタッフを見て、「私もやってみたい！」と思い、「映像制作特別講座」に加入しました。将来は、ここで得た経験を活かせる仕事に就きたいと思うようになりました。この体験を通して将来の道が拓けたという気持ちです。

**城内** 大手前大学で学ぶようになってから、話す力、考える力がぐんとアップしたと思いますし、体験の一つひとつが成長や自分の将来につながっていると実感できます。

## じっくりと対話を重ねる lon1で 自らと向き合い学びを深める

**平野** 体験を通しての学びは、本学の大きな特長のひとつになっていますね。行動には結果が伴います。成功もあれば失敗もあるけれど、「なぜ成功したのか」「なぜ失敗したのか」をしっかりと内省し、経験から得た教訓を言語化し、次の行動に活かせば、学びをより深いものにできるはず。だからこそ、学生の皆さんには、新しいこと、興味のあることに、どんどん挑戦してほしいと思っています。

**城内** 「lon1」もそのひとつです。先生とマンツーマンでじっくり対話するなかで授業への不安や悩みを相談できるだけでなく、今の自分に足りないこと、今後取り組むべき課題が見えてきて、着実に成長できているのを感じます。こんなに先生と向き合って対話できるのは、大学ではめずらしいような気がします。

**糸木** 中規模総合大学だからこそ環境の心地よさも大手前大学の魅力だと感じています。どの教室も程よい広さで教員と学生との距離も近いので、緊張せず安心して学ぶことができます。そして、「こんなことを勉強したい」「挑戦してみたい」という声がかつかり届き、夢や目標が叶う環境が整っていると思います。



## 豊かな人生を歩んでいくための 力を養うのが本学の使命

**糸木** 私は4年生でもうすぐ社会に出ていきますが、この4年間で得た挑戦する力と自分を振り返り見つめ直す力は、この先どんなときも支えになってくれるんじゃないかと思っています。

**城内** 私の学生生活はあと2年。これか

らより専門的な学びに入っていくので、勉強はもちろんサークル活動や国際交流など、すべての機会を無駄にせず精一杯取り組んでいくつもりです。そして、そのなかで得た学びを、将来の進路にもつなげていきたいと思っています。

**平野** 本学の建学の精神「STUDY FOR LIFE」(生涯にわたる、人生のための学び)がめざすLIFEとは、「生涯にわたってウェルビーイングを実現していく人生」です。そのためにも、一人ひとりがしっかりと歩んでいくための力を育むのが、本学の使命です。これからも本学での学びを最大限に活かして、豊かな人生をしっかりと歩んでくれることを期待しています。

2027年  
4月  
情報学部(仮称)  
設置構想中

文部科学省  
「大学・高専機能強化支援事業」に  
選定されました

現在リベラルアーツ4学部ヘルスケア2学部、計6学部を展開する大手前大学は、7番目となる学部として、2027年4月に情報学部(仮称・設置構想中)を開設する準備を進めています。これに伴い、文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」の支援1「学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援」に申請を行っていましたが、このたび、支援の対象として選定されました。

この事業は、今後の成長が見込まれる理工農系学部の設置を促進することを目的とした文部科学省の助成事業であり、デジタルや脱炭素など成長分野の人材育成を推進する分野として期待を集めています。

今回の選定結果を受け、地域と連携し地域に貢献できる人材を育成するという本学の使命を踏まえ、本学の強みを活かしてデジタル推進人材を育成するべく、情報学部(仮称・設置構想中)の設置準備に取り組んでいきます。

見ていたものが、全てじゃない…。  
そう気づいたとき、自分の中の常識に疑問が生まれ、心の奥がゆざぶられる。  
その先をもっと知ろうと動き出し、  
先生や仲間たちと語り合えば、  
異なる考えや思いが次々に言葉になって胸にささる。

目の前で、未知への扉が開く瞬間だ。  
内省し信念と志をもって踏み出せば、世界は変わる。

そんな機会をつくり出すのが  
大手前大学の、胸を打つ教育。  
一人ひとりの生涯にわたる、人生のための学び。

STUDY FOR LIFE

大手前大学

ゆざぶる  
ゆざぶる  
胸を打つ。

その瞬間、  
世界が変わる



# Enjoy! Activities

楽しむ！わたしの部活動！



## 今しかできないことに全力投球！ その経験が未来につながっていく

### Otemae Molkky Recreation

大手前大学モルック部【Teemöns】

大手前大学 建築&芸術学部 映画・演劇専攻 3年生 浦山 天佑

2023年、新たに誕生したOtemae Molkky Recreation (通称モルック部)。フィンランド発祥のスポーツ“モルック”とは何か、またその魅力について、立ちあげメンバーであり部長の浦山天佑さんに教えていただきました。

この部活動を立ちあげたきっかけは？

地元の公園でたまたま友だち家族がモルックで遊んでいるところに遭遇。仲間に入れてもらって遊んでみたところ、そのおもしろさに見事にハマってしまいました。そのことを大学の仲間に話したところ大いに盛り上がり、「じゃあモルック部をつくらう！」と、軽いノリからいつしか本気になったのがはじまりです。人気お笑い芸人が世界大会に出場したことで名が知られていたモルックですが、日本国内でもさまざまな大会が開催されるほど今、注目を集めています。現在、モルック部のメンバーは40名。大会優勝をめざして、楽しく活動しています。

魅力やおもしろさについて詳しく教えて！

モルックは、もともとフィンランドで生まれた木製の棒を倒して得点を競うシンプルながら奥の深いスポーツです。ルールは簡単で、「モルック」と呼ばれる棒を投げ、数字が書かれた木製のピン「スキットル」を倒すというもの。倒した数字の合計をピットリ50にしなければならぬので、どんな順番で倒していくか戦術が問われるし、ゲームが進むほど緊張感が高まっていき最高に楽しいです。最大の魅力といえば、年齢や性別に関係なく、努力次第で誰もが実力ナンバーワンをめざせることだと思います。部活動では週2日の練習を重ね、さまざまな大会に出場したり、モルックのおもしろさを知ってもらうために近隣の小学校で体験イベントを開いたり、また部内大会を企画してメンバー同士で競い合ったりと、活動の内容は実に多彩です。仲間たちとおもしろい企画を考え、力を合わせて実現していけるのも大きな魅力です。

活動を通して学んだこと、成長を感じることは？

40名もメンバーがいると、意見をまとめるのもひと苦労です。「こうしよう」と出した方針に反対意見が飛び出すこともあり、部長として組織をまとめることの難しさを日々痛感します。先日、部内大会を企画するなかで、景品を何にしようか考えているときに「せっかくお金をかけるなら、みんなのモチベーションがあがるように豪華なものにしよう」という私と、「景品よりも、もっと違う部分でお金を使うべき」という他の運営メンバーで意見がぶつかることがありました。自分としてはベストな提案をしたつもりでしたが、冷静に話を聞くと納得する部分があり、相手の話にしっかりと耳を傾け、お互いの信頼関係を築きながらつくりあげていくことの大切さに気づきました。その他にも企画力や交渉力、実行力、責任感など、学ぶことは盛りだくさん。みんなで苦勞を乗り越え目標を達成できたときの喜びと感動は、社会に出てからもがんばる力になると思います。

今後、挑戦したいことや取り組みたいことは？

今年は一気に部員が増えたこともあり、部長としての役割もますます拡大。まずは、予定が決まっている部内大会や合宿をしっかり成功させて、来年度以降への基盤をつくりたいです。今後の課題としては、人数が多くなるとどうしても積極的に参加するメンバーとそうでないメンバーの差が出てしまうので、全員が参加し充実した時間を過ごせるような企画・運営を心がけていきたいです。大手前大学の魅力は、学生が主体となつてさまざまなことにチャレンジできること。モルック部の立ちあげもそのひとつです。「こんなに好きなことだけに時間を割けるのは今だけ！」というのが、私なりのスタンス。勉強、アルバイト、部活動運営と毎日かなりハードなスケジュールですが、しんどさよりも充実感のほうが大きいです。一つひとつのチャンスを最大限に活かせるよう、これからも全力で取り組んでいきたいと思っています。

こんな活動しています！

話題沸騰中の競技「モルック」を真剣に楽しむ部活です！活動は週2日で、大会で勝つために日々練習しています。力だめしの部内大会や、バーベキュー、忘年会やボウリング大会などさまざまなイベントも盛りだくさんです！

大手前大学モルック部【Teemöns】

### 放送部

#### 兵庫県西宮警察署との連携で動画を制作！

放送部の学生が、兵庫県西宮警察署との連携で「自転車安全利用5則」「ヘルメット着脱啓発動画」「自転車保険の確実な加入」についての動画を制作しました。

この取り組みは、2023年4月1日から自転車用ヘルメットの着用努力義務化が始まったものの兵庫県は着装率の伸び悩みがあり、学生世代と同世代の制作者による動画および配信方法を考えることで、必要性や交通マナーについて考える機会が少しでも広がるよう兵庫県西宮警察署より依頼があり、西宮市内3大学が動画を制作しました。

本学では、2024年2月より制作に取りかかり、学内での撮影のほか甲子園自動車教習所も借りて撮影を行いました。3月15日(金)西宮市民会館にて一般の方を対象に、完成動画の発表会が行われ、その後TVや新聞で取りあげられました。



※学生が警察の服装を着用しています

# Enjoy! Activities

楽しむ！わたしの部活動！



誰かの笑顔を支えることで  
自分自身も成長していきたい！

## 大手前ボランティア同好会

大手前短期大学 ライフデザイン総合学科 2年生 田畑 吟

創設2年目の大手前ボランティア同好会。子どもの教育と障がい者理解を中心にさまざまな活動を行っています。メンバー約50名を率いる代表の田畑吟さんに、やりがいや目標についてお聞きしました。

大手前短期大学への入学とこの部活動を選んだ理由を教えてください！

高校卒業後は自力で進学することを考えていたので、2年分の学費で週3日通学し、3年間で卒業することができ長期履修制度のある大手前短期大学に入学。以前から関心を抱いていた子どもの教育と障がい者理解というテーマで活動を展開しているボランティア同好会に入りました。活動のテーマも魅力あるものでしたが、一番の決め手になったのは、この同好会を立ちあげた前代表の人柄です。新歓でのお話がとても印象的で、ぐんぐんとこの活動に引き込まれていきました。現在、その後を引き継いで代表となり、先輩のような頼れるリーダーをめざして日々奮闘中！メンバーも一気が増えて機動力もアップしたので、どんどん企画をして活動の幅を広げているところです。

具体的な活動内容と魅力ややりがいについて詳しく教えてください！

子ども食堂や放課後デイサービス、保育園での手話会、特別支援施設の子どものサポートする活動を中心に、高齢者を対象としたイベントや地域清掃、地域の祭りの補助など、さまざまな活動に取り組んでいます。それら活動の魅力は、人とのつながりを感じられること。子どもたちや障がいのある方々、彼らを支えるご家族やスタッフの方々と直接触れ合うことで、座学だけでは得られないたくさんの学びや感動があります。また、一緒に過ごす時間を通して、彼らの視点や思いを理解できるようになり、自分自身の視野の広がりや人間としての成長を実感しています。コミュニケーション能力やリーダーシップ、企画力、計画力、協調性など、幅広いスキルを磨くこともでき、やりがいは十分です。なにより、自分たちの活動で笑顔になってもらうとき、大きな喜びを感じます。

活動を通して学んだこと、成長を感じることは？

一番は、相手の視点に立つて物事を考えられるようになったことです。例えば、子ども食堂のボランティアではみんなで遊べるゲームの企画をさせてもらっているのですが、子どもたちの年齢は下が4歳から上が小学校6年生と幅広いうえに、好みも性格も集中力もさまざまです。こちらが一方的に出したアイデアではみんなを楽しませることができなくて、いかに相手に寄り添って提案できるかが重要なのだと気づかされました。また、活動の準備や運営には多くの時間と労力が必要です。特に、大規模なイベントやプロジェクトの際には、計画立案や役割分担、当日の進行管理など、多くの課題に直面します。苦労が多いぶん計画力や組織運営能力、問題解決能力が身につく、自信にもつながっているように感じます。以前は何かやりたいことがあっても自分からなかなか行動できなかったのですが、今は積極的に動けるようになりました。

今後、挑戦したいことや取り組みたいことは？

大学生活は勉強とボランティア同好会の活動はもちろん、アルバイトもこなす忙しい日々ですが、さらにもう一つ夢中になっているのが高校から続けているソフトボールです。現在、社会人チームに入って、毎週練習に参加しています。その経験を活かして、障がい者スポーツに挑戦したいというのが、今年の目標です。スポーツを通じて障がい者の方々の生活の質の向上に向けて、いろいろな取り組みをしていきたいです。また、卒業までに資格を取得するのも目標のひとつ。TOEICをはじめ、ファイナンシャルプランニング技能検定や秘書技能検定など、社会で役立つスキルを身につけて、自分自身のいろいろな可能性に挑戦していくつもりです。ボランティア同好会の代表としてもまだまだ課題はたくさんありますが、みんなを笑顔にできるようにこれからも全力で挑戦していきたいと思っています。

こんな活動  
しています！



子どもの教育と障がい者理解を中心に活動しています！昨年は子ども食堂や清掃活動、近隣の保育園での手話会、自主企画のスポーツ大会、子ども祭りなど、さまざまな活動を行いました！創設2年目となる今年は、さらに活動の幅を広げていきます。

### 大手前ボランティア同好会



公式SNSにて最新情報を随時配信中！

YouTube

大手前チャンネル  
大手前大学・大手前短期大学



otemae\_univ  
大手前大学



大手前大学 /  
大手前短期大学



大手前大学  
@otemae\_univ



大手前短期大学  
@otemae\_college



現代社会学部 坂元ゼミ  
芦屋で開催のイベントにボランティア参加

5月5日(日)に芦屋市で開催された「UNIVERSAL KAWAII」に、現代社会学部 観光・地域マネジメント専攻 坂元英毅准教授のゼミ生・有志11名が、ボランティアスタッフとして参加しました。このイベントは、介護福祉に関わるイベントやグッズをカワイイクロデュースする事業の開発に取り組む一般社団法人「カワイイクロ」が主催。介護×障がい×LGBTを「カワイイ」から相互理解することを目的に、芦屋市内の「リードあしや」、「芦屋モノリス」をメイン会場に、ファッションショーやトークイベント、約30の各種出展ブースが集い開催されました。学生たちは2つの会場に分かれ、会場内外での誘導やファッションショー会場の設営サポート、受付対応などを担当。1,300人以上が訪れたイベント運営を主催者とともに盛りあげました。

現代社会学部では、2025年度より「観光マネジメント専攻」、「地域価値創造専攻」の始動に向けて、学生たちが地域との関わりを通して学びを深めていく実践の場を、今後いっそう設けていく予定です。

# Otemae Topics

## 新校舎「K棟」完成！

3月27日(水)、さくら夙川キャンパスにおいて、福井要 大手前学園理事長、平野光俊 大手前大学学長、福井洋子 大手前短期大学学長による新校舎「K棟」のテープカットセレモニーを執り行いました。

新校舎「K棟」は、大小4つの講義室に加えアクティブラーニングスペースを整備しグループワークのできるエリアとリモート授業も受講可能な個人ブースを完備。

半屋外の階段や廊下からは既存キャンパスの桜を望むビューポイントになっており、講義の合間にキャンパスの自然を感じる事ができます。

学生や教職員、キャンパスを訪れた人たちの交流ができる居心地の良い第三の場所である「サードプレイス」の誕生により、授業だけでなく学生のさまざまな活動や地域との交流の場として活用されることを期待しています。



新校舎「K棟」外観



3F 講義室



1F アクティブラーニングスペース



テープカットセレモニーの様子

## 大手前大学

### 現代社会学部

### 阪神間の「まちごと」ひとの情報誌完成！

観光・地域マネジメントを学ぶ学生たちが、ゼミ(担当:渡邊公章 副学長、海老良平 准教授)活動の一環として、キャンパスのある阪神間の「まちごと」ひとの魅力伝える情報誌『OTEMAE TOURISM TIMES vol.2』を制作。学生たちは制作に際し、誌面企画、掲載店の決定、取材アポ取り、取材(撮影・原稿執筆)、校正といった編集作業の全工程を担当。編集未経験ながらも「地域の魅力を伝えたい」という思いと、Z世代的な学生目線を武器に誌面づくりに取り組みました。

完成後は、JR芦屋駅と西宮駅の両駅長に冊子を届けました。JR西日本との連携は兵庫県阪神南東センターの「大学生による地域活性化支援事業」によるもので、2023年7月には西宮・芦屋エリアを紹介する「駅員おすすめグルメガイド」を共同制作し、今回の冊子にもその一部が掲載されています。冊子は両駅のほか、西宮市役所、各掲載店舗で配布されました。



『OTEMAE TOURISM TIMES vol.2』



### 建築&芸術学部

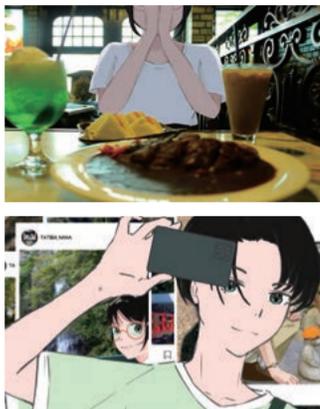
### 尼崎信用金庫と連携し

### 「地域課題の解決に向けた啓発動画」を制作！

官公庁や企業が抱える課題解決に向けて産官学連携PBL授業を実施する映像・アニメーションゼミ(担当:今西啓介 教授、和田淳 教授)が、尼崎信用金庫と連携し、動画を制作しました。

今回連携するきっかけとなったのは、2021年度に制作した救急車適正利用PR動画が尼崎市消防局から尼崎信用金庫へ提供され口ビーで放映されたこと。学生の目線を通して、街の魅力やPRする動画を制作し、店舗窓口やSNSなどで広く発信することで、地域の活性化・魅力発信に努めたいとお声がけをいただき、学生にとっては新たな社会的実践の機会創出や地域に対する理解促進につながるかと考え、連携に至りました。

制作動画は8作品(街のPR5作品、防災関連3作品)。尼崎信用金庫84店舗の窓口で放映する「あましの広場」にて活用されました。また、尼崎信用金庫公式YouTubeではすべての作品が配信されており視聴が可能です。ぜひ、ご覧ください。



### 健康栄養学部

### 「第9回食物アレルギー対応食料理コンテスト」で最優秀賞を受賞！

健康栄養学部4年生 谷和志さん(2024年3月時点)の考案した「米粉でモチっと!小籠包」が公益財団法人ニッポンハム食の未来財団主催「第9回食物アレルギー対応食料理コンテスト」で最優秀賞を受賞。このコンテストは、これまでの経験や実践が食物アレルギーと向き合っている方々へ広く浸透していくことを目的とし、2023年7月から10月にかけて募集が行われ、全国の栄養教諭、管理栄養士、栄養士のみならず、食物アレルギーに関心を持つ方々から「A・食事部門」(B:おやつ・デザート部門)の2部門合計468作品の応募があり、谷さんが見事「A・食事部門」最優秀賞を受賞しました。

入賞20作品は、ニッポンハム食の未来財団により「食物アレルギー対応レシピ検索サイト」へ掲載、料理動画およびレシピ集の発行がなされ、食物アレルギー対応レシピを必要としている皆さまに広く活用される予定です。



主催:公益財団法人ニッポンハム食の未来財団  
後援:厚生労働省、消費者庁、農林水産省  
運営協力:女子栄養大学出版部

### 国際看護学部/国際看護学研究所

### タイ・チェンマイ大学より教員を受け入れました

6月10日(月)と12日(水)の2日間、海外協定校のチェンマイ大学より教員6名を受け入れられました。日本における感染症対策視察のため来日され、本学で短期間のプログラムを実施しました。

10日は、大阪大手前キャンパスでのプログラムを実施し、まずは国際看護学部の藤井学部長による温かいウェルカムメッセージと、学部紹介をしました。そして、チェンマイ大学のワンチャイ准教授より「タイでの感染管理分野における看護教育」についての発表がありました。最後に、国際看護学研究所の大学院生2名が「コロナ禍における看護体験」についての発表を行いました。それぞれの国での看護の実際に対して意見交換をすることができ、双方が学び合うよい機会となりました。

12日には、大阪国際がんセンター様にご協力いただき、院内の見学や感染管理のレクチャーを受けました。レクチャーではチェンマイ大学の教員方から多くの質問があり、有意義な意見交換の場となりました。

なお、10月にはチェンマイ大学の看護学生が大阪大手前キャンパスで1週間の研修を予定しています。引き続き、海外協定校との交流を継続的に実施してまいります。



# Otemae Topics

## 大手前短期大学

### ライフデザイン総合学科 建築・インテリアコースの取り組み

建築科目「住まいづくりの技術」では、木造軸組み工法について実際の軸組みを組み立て、建物の構造や継ぎ手、仕口の種類、名称など学んだ内容の理解を深めることを目的とし、各グループにて役割分担を決め建物の組み立てから解体まで学生中心で作業を進めています。

実際の建築を学ぶほか、インテリア科目では3DマイホームデザイナーPRO9を活用し「インテリアデザインコンペ」などに参加。コンペテーマに沿ってインテリアの発想を自由に膨らませながら入賞に向けて取り組んでいます。



過去の作品事例(2022年度)

### 医療事務総合学科 病院事務 職業体験イベント in 医療法人 信和会 明和病院

7月20日(土)、医療法人 信和会 明和病院にて学外オープンキャンパスを開催いたしました。はじめに大学内で出発前オリエンテーションを実施。見学会の目的とスケジュールが説明され、バスで明和病院に移動しました。

明和病院に到着後、開会式が行われ、池崎事務部長よりご挨拶と、病院事務の仕事についての説明がありました。続いて院内オリエンテーションと見学ツアーを実施。院内の各部門を見学し、外来受付や医事課の業務内容、診療情報管理の仕組みについて詳しく説明を受けました。特に診療報酬の仕組みに関する講義は、参加者から好評でした。次に、ディスカッションと講義を実施。



診療報酬の仕組みや病院事務の実務について詳しく学びました。閉会式では、参加者からの質疑応答やアンケートを行い、学科長よりお礼と閉会の挨拶がありました。



今回の見学会を通じて、今後は本学学生と共に地域での患者さまへ貢献する活動の研究を行うことになりました。その成果は病院の広報や学術大会などで発表される予定です。これからも、高校生の職業体験の場として学外オープンキャンパスを実施する予定です。

普段は知ることのできない業務内容を理解できました。「診療報酬の仕組みについて詳しく知ることができ、大変勉強になりました。」「参加することで病院で事務員として働くイメージが想像と変わり、やりがいを感じる事ができた」などの感想が寄せられました。

## 大手前大学通信教育部

### 通信教育部は 2024年で開設15周年

通信教育部は2024年で開設15周年となります。1期生224名から始まった通信教育部は、2024年5月現在の在籍者数が約3700名と大きな成長を遂げました。強みである完全オンライン学習に加え、通信制大学ではめずらしい若年層を対象にした担任制の「基礎ゼミナール」の開設(2016年度)や「日本語教員養成課程(新基準)」の設置(2017年度)、卒業後の学士(看護学)取得をサポートする「看護学コミュニティ」の運営(2022年度)など、社会のニーズに応じてその中身を進化させてきました。次の20周年に向けてますます充実した学びの場を提供してまいります。

#### 『学士(看護学)』の学位取得者19名

2023年度の看護学コミュニティ入会者43名のうち、21名が2023年度10月期または2024年度4月期に大学改革支援・学位授与機構へ学位授与申請を行い、19名が審査に合格、「学士(看護学)」の学位を取得しました。



## 第33回 歯科衛生士国家試験

### 歯科衛生学科

■ 歯科衛生学科  
受験者数 **65**名  
合格者数 **65**名

合格率  
**100%**

(全国平均 92.4%)  
2024年3月卒業生実績

## Close-up! person

表紙を飾るイラストを描いてくれたのは...

**臼田 ルリ**さん / 大手前大学 メディア・芸術学部 絵画専攻 2015年卒業 /



表紙イラスト

### 制作コメント

今回の作品は大手前大学の建学の精神『STUDY FOR LIFE』— 生涯にわたる、人生のための学び — からイメージした「その学びは人生の灯台となる」というテーマをもとに描きました。左側の若い人物が歳を重ねた自分自身に「学びという灯台」をバトンのように手渡しています。大学での多角的な学びや努力した経験は、卒業して10年近く経った今でも私を導き支えています。それは未来という先の見えない暗闇のなかを航行する我々の指標となるのではないのでしょうか。



### 作者プロフィール

#### 【略歴】

2014年 パリ国立高等美術学校 交換留学  
2015年 大手前大学 メディア・芸術学部 絵画専攻 卒業  
東京在住 イラストレーター  
アクリルやアクリルガッシュ、立体、デジタルイラストを用いて人物画を中心に制作

#### 【2024年の活動・仕事内容】

火曜ドラマ『Eye Love You』劇中の絵本作制  
TBSドキュメンタリー映画『方舟のつて』 劇中イラスト制作  
つばさレコーズ 川嶋あい楽曲『絆』 イラストMV制作  
KADOKAWA K+シネマ 『リバウンド』 イメージイラスト・コメント寄稿  
小学館 幼児雑誌『めばえ』10月号掲載 童話『しらゆき姫』制作

#### 【展示・イベント】

4月に個展、6月・7月に各イベント出展にてグッズ販売、9月に書店にて作品展示(各詳細はSNSにてご確認ください)

#### 【今後の活動予定】

小窓舎(出版)にてZINE発売(2024年内)  
4名のイラストレーターによるグループ展開催(2024年~2025年冬)

お仕事や展示のお誘いお待ちしております。

Instagram>> @ruri.u.tori

X>> @ruriusuda

# Information

## 募金ご協力のお祝いとご報告

### 大手前学園創立 80 周年記念事業募金ご協力のお祝い

皆さまのご支援をもちまして、2026年に大手前学園は創立80周年、大手前大学は創立60周年、大手前短期大学は75周年を迎えます。

この記念すべき節目に記念事業として「教育・研究・学生活動の支援事業」「施設・整備の環境整備事業」「地域及び社会貢献事業」などを、順次実施する予定です。また、記念事業の一環として「在学生の奨学資金およびキャンパス整備資金の調達」のために記念事業募金の募集を開始しております。在学生の学生生活がさらに充実した日々となるように教育環境整備を進めるためには、より多くの方々からの深いご理解と力強いご支援が大きな支えとなります。

この趣旨にご賛同いただき皆さまの温かいご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

お申し込み方法

- Webサイト 
- 銀行・郵便局 同封の振込用紙をご利用いただくか、事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ先 / 創立80周年記念事業募金事務局 TEL: 0798-32-7560

### ASEAN 留学生学修サポート募金ご協力のお祝いとご報告

2023年度より募集を開始しました「ASEAN留学生学修サポート募金」は、ASEANからの留学生に対する学修支援のための募金です。皆さまからのご支援が、留学生への学修支援充実のための大きな力になります。引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

募金状況は右記のとおりです。  
※2023年4月～2024年8月累計

件数	金額
15 件	3,890,013 円

お申し込み方法

- Webサイト 
- 銀行・郵便局 同封の振込用紙をご利用いただくか、事務局へお問い合わせください。  
※ 振込用紙の通信欄に「ASEAN」とご記入ください。

お問い合わせ先 / ASEAN留学生学修サポート募金事務局 TEL: 0798-32-7560

### 大手前古本募金～本 de 学生支援～

大手前学園古本募金「本 de 学生支援」は、皆さまからご提供いただいた本やCD、DVDの買い取り金が大手前学園の学生支援に役立つプロジェクトです。寄付金は留学生への食のサポート等に役立てられています。読み終わった本や聴かなくなったCD、観終わったDVDがございましたら、ご寄付をお待ちしております。

寄付の状況は下記のとおりです。  
※2016年9月～2024年8月累計

点数	金額
12,722 点	534,920 円

お申し込み方法

大手前学園 Webサイトをご確認ください。



提携先 三井住友信託銀行

### 遺贈による寄付制度

大手前学園では、卒業生・教職員・一般篤志家の方が所有されている資産の一部を、遺贈による寄付として受け入れる制度を信託銀行と連携してご紹介しております。受取人として大手前学園を指定していただくことで学園の教育・研究活動の一層の充実発展に、ご遺産をお役立ていただくことができます。

詳細は学園Webサイトをご確認いただき、ご希望の方は提携信託銀行にご相談ください。

詳細については

大手前学園 Webサイトをご確認ください。



### 大手前学園広報誌「OtemaeWinds」次回以降のお知らせ

大手前学園の方針や現状と、各校や付帯施設に関するさまざまな情報をお知らせしてまいりました

「OtemaeWinds」は今号をもちまして郵送にてお送りする形での発行を終了いたします。

次号47号からは、装い新たにWeb版として展開してまいります。

引き続き、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

【Web版はこちらをご確認ください】  
<https://gakuen.otemae.ac.jp/papers/>



### 【お問い合わせ】

#### 卒業生の方

住所に変更のある方、または今後の郵便物を希望されない方は右記までご連絡ください。

▶ 校友会 Web サイトはこちら  
<https://www.otemae-alumni.jp>



▶ お電話はこちら  
TEL.0798-31-3107  
(火・木曜日 10:00～14:00)

本誌の内容に関するお問い合わせ TEL.0798-32-7525 (大手前学園 法人本部)

## 2023年度 収支決算書

学校法人大手前学園の2023年度の決算は、2024年5月23日の理事会で承認されました。

つきましては、下記にその概要をご案内いたします。

資金収支計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで) [単位:百万円]

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	5,571	人件費支出	2,945
手数料収入	65	教育研究経費支出	1,881
寄付金収入	2	管理経費支出	671
補助金収入	917	借入金等利息支出	21
資産売却収入	799	借入金等返済支出	629
付随事業・収益事業収入	87	施設関係支出	555
受取利息・配当金収入	102	設備関係支出	377
雑収入	26	資産運用支出	1,261
借入金等収入	0	その他の支出	189
前受金収入	1,099	資金支出調整勘定	△ 109
その他の収入	869	翌年度繰越支払資金	3,024
資金収入調整勘定	△ 1,224	支出の部合計	11,443
前年度繰越支払資金	3,130		
収入の部合計	11,443		

活動区分資金収支計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで) [単位:百万円]

収入		支出	
学生生徒等納付金収入	5,571	有価証券売却収入	799
手数料収入	65	投資信託特別分配金等収入	0
特別寄付金収入	2	保証金戻入収入	2
一般寄付金収入	0	預け金回収収入	0
経常費等補助金収入	844	預り金受入収入	57
付随事業収入	87	貸付金回収収入	0
雑収入	26	小計	859
教育活動資金収入計	6,595	受取利息・配当金収入	102
人件費支出	2,945	その他の活動資金収入計	961
教育研究経費支出	1,881	借入金等返済支出	629
管理経費支出	671	有価証券購入支出	1,253
教育活動資金支出計	5,497	第3号基金引当特定資産購入支出	8
差引	1,098	保険積立金支出	0
調整勘定等	△ 32	預け金支払支出	0
教育活動資金収支差額	1,066	預り金支払支出	81
施設設備補助金収入	74	小計	1,972
施設設備売却収入	0	借入金等利息支出	21
教育施設設備特定資産取崩収入	800	その他の活動資金支出計	1,993
施設整備等活動資金収入計	874	差引	△ 1,032
施設関係支出	555	調整勘定等	0
設備関係支出	377	その他の活動資金収支差額	△ 1,033
施設整備等活動資金支出計	931	支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)	△ 106
差引	△ 57	前年度繰越支払資金	3,130
調整勘定等	△ 82	翌年度繰越支払資金	3,024
施設整備等活動資金収支差額	△ 139		
小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)	926		

事業活動収支計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで) [単位:百万円]

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金	5,571	資産売却差額	58
手数料	65	その他の特別収入	77
寄付金	2	特別収入計	135
経常費等補助金	844	資産処分差額	128
付随事業収入	87	特別支出計	128
雑収入	26	特別収支差額	7
教育活動収入計	6,595	基本金組入前当年度収支差額	402
人件費	2,954	基本金組入額合計	△ 1,255
教育研究経費	2,551	当年度収支差額	△ 852
管理経費	774	前年度繰越収支差額	884
教育活動支出計	6,279	基本金取崩額	0
教育活動収支差額	315	翌年度繰越収支差額	32
受取利息・配当金	102		
教育活動外収入計	102		
借入金等利息	21		
教育活動外支出計	21		
教育活動外収支差額	81		
經常収支差額	396		

(参考)

事業活動収入計	6,831
事業活動支出計	6,429

貸借対照表 (2024年3月31日現在) [単位:百万円]

資産の部		負債・純資産の部	
固定資産	38,334	固定負債	2,161
有形固定資産	26,261	長期借入金	1,517
土地・建物・建物附属設備・構築物	22,933	退職給与引当金	644
機器備品	1,287	流動負債	1,857
図書	1,622	負債の部合計	4,018
その他	419	基本金	37,429
特定資産	9,225	繰越収支差額	32
その他の固定資産	2,848	純資産の部合計	37,461
流動資産	3,145	負債及び純資産の部合計	41,479
資産の部合計	41,479		

※学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入のうちから組み入れた金額を基本金とする。(学校法人会計基準(文部省令第18号))

※掲載の情報は2024年10月現在のものです。